



2020年5月15日

各 位

会 社 名 SMK株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光
(コード番号 6798 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 大垣 幸平
(TEL. 03-3785-1111)

通期連結業績予想と実績値との差異、特別損失(減損損失)の計上(連結決算、個別決算)に関するお知らせ

2020年1月28日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2020年3月期第4四半期連結会計期間(2020年1月1日~2020年3月31日 連結決算)及び2020年3月期第4四半期会計期間(2020年1月1日~2020年3月31日 個別決算)において、下記のとおり、特別損失(減損損失)を計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値と実績の差異(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 55,000	百万円 150	百万円 450	百万円 200	円 銭 31.07
今回実績(B)	54,161	△244	△185	△2,651	△410.88
増減額(B-A)	△838	△394	△635	△2,851	
増減率(%)	△1.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	57,386	△1,834	△707	△834	△126.47

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

2020年3月期通期の連結業績につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、第4四半期において、車載関連等の顧客企業の需要が減少したこと、及び中国、フィリピン、マレーシアの各生産拠点の操業規制が実施されたため稼働率が低下したことにより、売上高、営業利益は前回予想を下回りました。経常利益は、営業利益の減少及び為替差損の計上により前回予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の減少及び減損損失の特別損失への計上により、前回予想を大きく下回りました。

3. 特別損失（減損損失）の計上の内容

① 連結決算

当社は、2020年3月期第4四半期連結会計期間において、当社及び当社子会社である SMK Electronics(Dongguan)Co.,Ltd.、SMK Electronics(Phils.)Corporation、SMK Manufacturing, Inc.、SMK-LOGOMOTION 株式会社が保有する固定資産（建物、機械装置等）について、現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、減損損失2,953百万円を特別損失に計上いたしました。

② 個別決算

当社は、2020年3月期第4四半期会計期間において、当社が保有する固定資産（機械装置等）について、現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、減損損失1,241百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上